

まるやまの丘

令和7年
7月17日
＜第4号＞

川村小学校の合言葉：「がんばる自分 ささえる仲間」

夏休みを有意義に…

梅雨明けを控え、暑さが増してきました。二十四節気では、もうすぐ「大暑」と呼ばれる季節になります。まさに夏本番です。

さて、学校は19日から夏休みに入ります。長い休みの期間、子どもたちにはぜひ目標を持って過ごしてほしいと思います。家族の一員として家の仕事分担に取り組んだり、今まで学習した内容を復習したり、コンクールなどの応募に挑戦したりと、一つでも「これをがんばった」というものをもってほしいと考えています。「時間」はみんなに平等にあります。さて、この夏休みの時間をどのような「宝物」に変えられるでしょうか。一人ひとりがこの休みを充実させ、夏休み明けに元気な笑顔で会えることを願っています。



山王小学校との交流

～上下流域小学校等交流事業～

6月17日（火）に4年生が小田原市立山王小学校に行ってきました。これは、酒匂川の上流の小学校と下流の小学校が交流をし、環境や水循環についての学習を行うことを目的としたものです。まず、山王小学校のすぐ前にある砂浜で、一緒にビーチコーミングを行いました。海のものだけでなく山の方から流れついたものもたくさんありました。山と海とのつながりを感じられる体験でした。



その後、山王小学校の児童による小田原市や山王小学校についての発表を聞きました。その後、扇町水再生センターの見学もしました。

秋には、川村小学校に山王小学校の4年生を迎えます。楽しい交流会になるよう、準備をしていきます。

メダカの授業

6月23日（月）、富川孝治先生による5年生を対象としたメダカの授業がありました。

この日の朝に生まれたばかりの卵を一人ひとりに準備してきてくださり、メダカについてのお話をいただきました。その卵を顕微鏡で観察した時には、子どもたちから歓声が上がっていました。「命」を感じる、とても貴重な時間でした。



ドリームマップ授業

6月 13 日（金）6年生がドリームマップ授業を受けました。NPO 法人こどものみらいプロジェクトゆめドリの方を講師に迎え、自分とじっくり向き合い、自分の未来に思いをはせる時間です。



自分の好きなことやワクワクすることを見つけ、何歳でどんな自分でいたいのかを考え、画用紙に写真や吹き出しなどを使って描きました。最後にはクラスの前で発表。みな、堂々と笑顔で自分の夢を語る姿が印象的でした。

一人ひとりが自分と向き合い、なりたい自分や夢をイメージし、そのためにすることは何かを考える…。未来に向かって強く歩いていって欲しいと願っています。

異学年交流

学校では、6月半ばから清掃活動を1～6年生の縦割り班で行っています。各班の6年生たちがリードし、班のメンバーで協力して各清掃分担場所がきれいになるように頑張っています。異学年との交流はこれだけでなく、学校生活のいろいろな場面にあります。

今年度の児童会の目標は、他の学年の人とも気軽に話をできる学校にしたいという思いの詰まった「ともだち何人？331人!」。その目標に向かっての活動として、スポーツ委員会が企画したドッジボール大会が6月末から開催されました。チームは清掃を一緒に行っている班のメンバーです。長昼休みを使い、勝利を目指して縦割り班で楽しみました。決勝の日には、見学の児童たちの盛大な応援があり、放送委員会の児童による実況やヒーローインタビューもあり、とても盛り上がりました。このような交流をとおして仲間の輪が広がっています。

川村小児童の活躍



☆第 44 回山北町青少年健全育成大会 6/28

小・中・高校生から募集した「少年の主張」作文コンクールの表彰が行われました。最優秀賞に6年生1名、優秀賞に6年生2名が選ばれました。

☆第 53 回交通安全こども自転車神奈川県大会 7/12

令和6年8月に行われた「自転車の安全な乗り方足柄上地区大会」で準優勝した現5年生の4名が県大会に出場しました。5月から毎週練習を重ねて、当日は堂々とした演技でした。